

魅力ある観光地づくりの財源検討に関する アンケート集計結果

資料 1

●アンケート発送件数：71件

(令和6年3月末時点の鹿児島県宿泊業許可施設件数)

※宛名不明、廃業等連絡5件

●回答数：39件(66件中) 回答率59%

●令和6年7月9日から8月14日までの回答結果を集計

(1) 施設の種別について

ア ホテル	7件	17.9%
イ 旅館	9件	23.1%
ウ 民宿	9件	23.1%
エ 簡易宿所(ゲストハウス等)	13件	33.3%
オ 民泊	0件	0.0%
カ ログハウス	1件	2.6%

回答数39件 100.0%

※ 県宿泊業許可区分；ホテル・旅館 22件，簡易宿所16件，下宿1件

(2) 部屋数について

ア 10室未満	24件	61.5%(旅館4件，民宿8件，簡易12件)
イ 10～30室未満	3件	7.7%(ホテル1件，民宿1件，ログハウス1件)
ウ 30～50室未満	4件	10.3%(ホテル1件，旅館2件，簡易1件)
エ 50～100室未満	5件	12.8%(ホテル3件，旅館2件)
オ 100室以上	3件	7.7%(ホテル2件，旅館1件)

回答数39件 100.0%

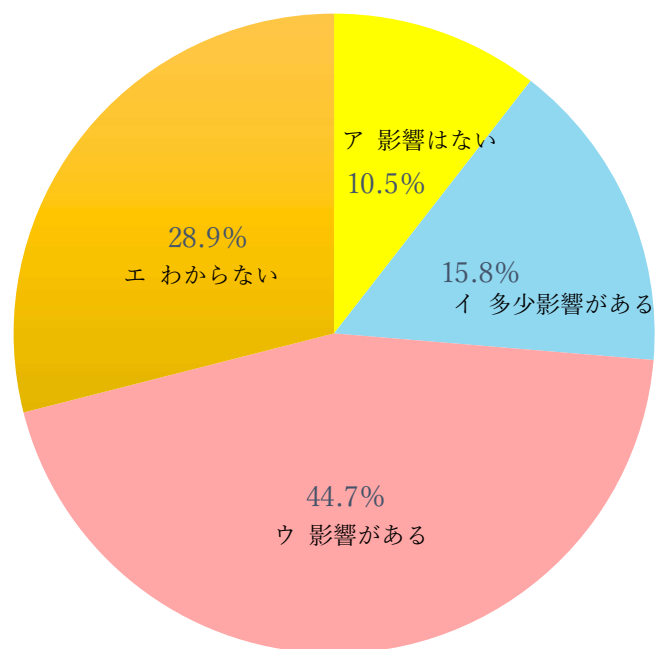
(3) 施設における宿泊料金区分に該当する部屋の有無及び宿泊料金区分ごとの 延べ宿泊者数について

宿泊料金 (1人1泊あたり)	左記料金に 該当する 部屋の件数	延べ宿泊者数(人) (令和5年)
7,000円未満	22	21,845
7,000円～10,000円未満	16	50,565
10,000円～15,000円未満	11	100,814
15,000円～20,000円未満	10	134,811
20,000円～50,000円未満	7	57,767
50,000円以上	3	1,922
合 計		367,724

※令和5年 指宿市内宿泊客数 479,647人(指宿市観光統計)

(4) 宿泊税を導入した場合、宿泊者数の減少などへの影響について

ア	ほとんど影響はない	4 件	10.5%
イ	多少影響はあるが、税を財源として観光振興やまちづくりの推進が図られれば影響はない	6 件	15.8%
ウ	影響がある	17 件	44.7%
エ	わからない／何ともいえない	11 件	28.9%
		回答数 38 件	100.0%



【主な意見等】

《宿泊税が、宿泊代金の増加につながる懸念等のご意見》

- 他の観光地との競争に負ける可能性が高くなる。観光業者の財務状況は脆弱で、少しの売上減にも耐えられない。
- 高額な宿泊税は、宿泊客に負担がかかり宿泊減少につながりかねない。導入するなら過度な負担にならない程度が望ましい。
- 宿泊代金上がることは、お客様にとって不満点となり、購買意欲に影響する。ただし、納税者（宿泊者）の「納得度（＝利用方法の伝わり度）」が上がれば相対的に支払額増への不満は抑えられる可能性はある。
- 消費税＋入湯税が今現在ある上に宿泊税を導入すると、お客様は少しでも安い地域、場所等に変更してしまう。

《他のエリアや旅行会社との関係等》

- 大都市圏のようなオーバーツーリズムになっている自治体では、宿泊税をとることは致し方ないと思う。周辺自治体の状況を踏まえる必要あり。
- 砂楽の料金も上がり、エージェンツ側では影響があると判断すると思われる。砂楽の値上がりより少し期間を空けての導入が望ましい。

《入湯税との関係等》

- 入湯税ですでに徴税しているので二重課税になる。

【分析】

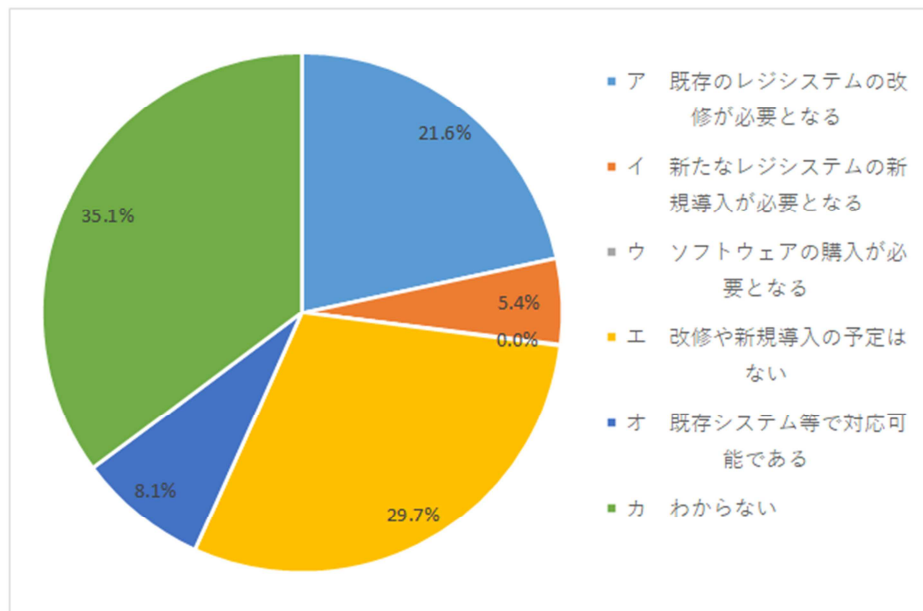
ウの「影響がある」が1番多く、17件で全体の44.7%であり、その多くが、民宿や簡易宿所からの回答となった。

(5) 宿泊税を導入した場合のレジシステム等を改修もしくは新規購入予定に

ついて

ア 既存のレジシステムの改修が必要となる	8 件	21.6%
イ 新たなレジシステムの新規導入が必要となる	2 件	5.4%
ウ ソフトウェアの購入が必要となる	0 件	0.0%
エ 改修や新規導入の予定はない	11 件	29.7%
オ 既存システム等で対応可能である	3 件	8.1%
カ わからない	13 件	35.1%

回答数 37 件 100.0%



(6) システムを改修等にかかる経費について

ア 10 万円未満	1 件	3.1%
イ 10 万円以上 25 万円未満	1 件	3.1%
ウ 25 万円以上 50 万円未満	2 件	6.3%
エ 50 万円以上 100 万円未満	2 件	6.3%
オ 100 万円以上	1 件	3.1%
カ わからない	25 件	78.1%

回答数 32 件 100.0%

【主な意見等】

- 費用はかからない。
- 新規導入になると 100 万以上となる可能性も。
- 更新が必要

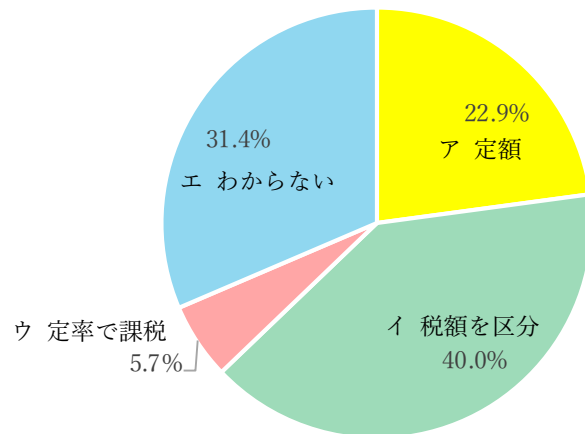
【分析】

アの改修、イの新規導入が必要と回答したのが、合わせて 10 件で全体の 27%となっており、すでにレジシステムを導入しているホテルからの回答が多い。

エの導入予定はないと回答したのが、11 件で 29.7%となっており、主に簡易宿所からの回答が多い。

(7) 宿泊税の税額・税率について

ア	宿泊料金により税額を設けず定額にする	8件	22.9%
イ	宿泊料金により税額を区分する	14件	40.0%
ウ	宿泊料金に対し定率で課税する	2件	5.7%
エ	わからない／何ともいえない	11件	31.4%
		回答数	35件 100.0%



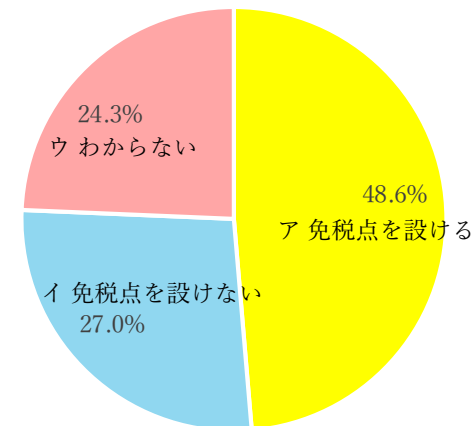
【分析】

イの料金により税額を区分するの回答が、14件、40%であり、施設区分を問わず、多くの回答があった。

アの定額の回答は、8件、22.9%であり、ホテル、旅館からの回答が多かった。

(8) 宿泊税の課税免除について

ア	宿泊料金により免税点を設けた方がよい	18件	48.6%
イ	宿泊料金により免税点を設けない方がよい	10件	27.0%
ウ	わからない／何ともいえない	9件	24.3%
		回答数	37件 99.9%

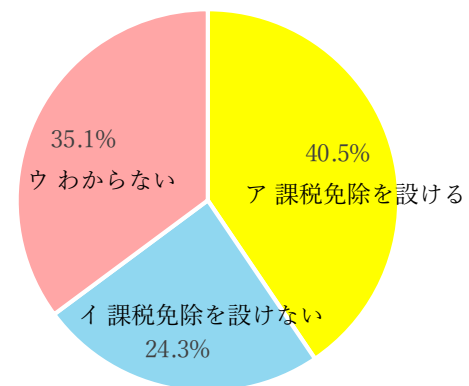


【分析】

アの免税点を設けた方がよいの回答が18件、48.6%で、施設の区分を問わず、最も多かった。

(9) 修学旅行で宿泊する場合の課税免除について

ア	修学旅行等の課税免除を設けた方がよい	15件	40.5%
イ	修学旅行等の課税免除を設けない方がよい	9件	24.3%
ウ	わからない／何ともいえない	13件	35.1%
		回答数	37件 100.0%



【分析】

アの課税免除を設けた方がよいの回答が15件、40.5%と最も多く、ホテル、旅館からの回答が目立った。

(10) 宿泊税の使い道として望ましいと思うものについて※複数選択可

ア	また来たくなる観光地づくり (海岸整備の観光資源化, 魅力ある商店街整備など)	19件	17.9%
イ	観光拠点整備 (魚見岳, 池田湖, 知林ヶ島, 長崎鼻などの拠点整備)	13件	12.3%
ウ	交通アクセス改善 (二次交通整備など)	23件	21.7%
エ	豊かな食に関すること (食のブランド化, 朝市・マルシェの開催, ご当地グルメ開発など)	4件	3.8%
オ	豊かな温泉整備 (砂むし温泉の魅力向上, 温泉を軸とした観光推進など)	9件	8.5%
カ	いぶすきのファンづくり (プロモーション, セールス活動による観光客誘致など)	7件	6.6%
キ	おもてなしの強化 (人材育成, 活動支援)	5件	4.7%
ク	コンテンツ創出 (イベント磨き上げ, 大会・合宿誘致, 既存施設の価値向上)	2件	1.9%
ケ	着地型コンテンツ磨き上げ (朝・夜コンテンツ, 歴史・文化, 食, 団体向けなど)	4件	3.8%
コ	宿泊施設や観光施設事業者への受入環境整備に対する支援 (トイレ洋式化, キャッシュレス化, WI-FI 整備など)	10件	9.4%
サ	観光客向け支援事業 (宿泊助成, 宿泊キャンペーンなど)	7件	6.6%
シ	その他	3件	2.8%

回答数 106件 100.0%

【主な意見等】

- 海岸整備で海水浴場ができるが、連泊できるように宣伝及び受入整備等々。
- 宿泊施設内の利用だけでなく、外での食事, 温泉等, 長期滞在のコンテンツ作り。
- 「指宿に宿泊すること」の価値を高め, 宿泊の生産性を高めることが最も効果的で持続可能性が高いと考える。本税金の一定割合については本市の「宿泊事業者の収益力強化に活用する」と明確に規定すべき。
- 遠く指宿まで宿泊に来てくださるお客様にさらなる負担をお願いする以上, お客様が確実に利益を享受できるよう使い道を精査する必要があると感じる。
- 指宿市は自然環境アピールをしてほしい。空気, 水がおいしい, 緑があるなど, 鹿児島からアクセスするとこんなに自然がたくさんあるのは魅力的だと思う。
- 観光地として交通アクセスを再点検して, 電車で来られる方が困らないような交通アクセスを考えていただきたい。
- 指宿は, 国立公園の素晴らしさをアピールし, 自然を活かした今のままの指宿でいいと思う。

【分析】

アのまた来たくなる観光地づくり, イの観光拠点整備, ウの交通アクセス改善といった, 各種整備への選択が多くを占めており, 3つを合わせ, 全体の約半数, 51.9%となった。

ク, ケのコンテンツ創出, 磨き上げといったソフト事業への選択は全体の5.7%となった。

(11) 宿泊税に関し、全体を通じた意見等

【目的・使途等についての意見】

- 目的税としてしっかり目的（使途）を公表していくことが大切。環境整備・交通整備がしっかりと整ってくれば、地元住民にもプラスに働くことが想定されるので、前向きに検討してもらうことには賛成。
- 宿泊税は一般財源なのか？特定財源なのか？宿泊税とする以上、観光促進に資する使い方でないとは納得できない。
- 宿泊税の導入によって何をしたいか、何の財源として使うのか。その説明もなくして宿泊施設の理解を得られるのは厳しいのではないか。
- インバウンドゲストにとってより魅力的な旅先になるよう、地産地消や地魚、フルーツを使った食、ベジタリアンやヴィーガン食の選択肢を提供できる商品開発や多言語での酒蔵めぐりや体験ができるなど、海外ゲストにもっと来てもらえるように使われると素敵だと思う。

【入湯税等との関連についての意見】

- 入湯税を上げてみてはどうか。
- 宿泊税については反対。入湯税の使い道についても、情報を開示してほしい。
- 現在、入湯税の徴収でも説明を求められることが多く、宿泊税も徴収するとするとさらにチェックアウト時の説明が必要になり、業務上も大変になる。
- 宿泊税を追加する場合は、入湯税をなくして一本化する。
- 入湯税も徴収し、さらに、宿泊税も徴収となると、二重に収める形となるため、説明が難しい。
- 入湯税に関して、宿泊施設は宿泊税、温浴施設は入湯税で住み分け、宿泊税と入湯税の二重課税にならないように税の使途を詳細まで公開してほしい。
- 入湯税をもらうのも気使いが必要なことがあるのに、２種類になると説明等に手間取ることがありそう。
- 宿泊税が増えたら個人事業主は仕事が増える。今でも入湯税の問題は客とのトラブルがあったりする中でこれ以上は勘弁してもらいたい。

【その他意見】

- 宿泊客に十分理解していただけるよう、宿と行政の話し合いが必要。
- 宿泊税の支払いをキャッシュレスされた場合の手数料が宿泊施設の負担が増えてしまう。入湯税も同様。
- 宿泊税は反対。どうしてもやられるなら、1万～2万以上の宿泊者は税を課して、安い料金の方々には、無税でお願いしたい。
- 宿泊税の導入に反対である。財源は観光業等の売上げが上がり、その法人税収から充当されるべき。市として観光業に充てる財源がないのは理解できるが、宿泊税を導入することにより他の観光地との競争に負ける可能性が高まる。
- 人手不足の中で経営にひっ迫する宿泊施設の不安に基づく切実な声なので、主導する市には丁寧に慎重な議論積み上げと説明を行っていただきたい。
- 業務の負担が増す。
- 導入してほしくない。
- 県単位で行うなら賛成するが、指宿市独自で行うなら反対。